



船引小学校だより



【教育目標】
思いやりのある子ども
よく考えてしっかり学ぶ子ども
進んでからだをきたえる子ども

平成30年5月25日
田村市立船引小学校
発行責任者
校長 有賀 仁一

運動会を終えて！

多くのご声援ありがとうございました！

～ 順延で何かとご迷惑をおかけしました。
あらためてお詫び申し上げます ～



19日（土）朝5時から1時間弱の豪雨で、校庭はあっという間に水浸しになってしまいました。前日は、多少の雨なら1時間遅らせてでも整地をして開催したいと考えていましたが、整地で何とかなるような状態ではありませんでしたので、やむなく順延させていただいた次第です。仕事や他行事が予定されていた中で、ご迷惑をおかけしてしまいました皆様にあらためてお詫び申し上げます。



20日（日）は、最高の運動会日和でした。五月晴れのもと爽やかな風も吹いて、例年になくケガをしたり具合の悪くなったりする子が少なく、多くの子どもたちが「元気で、本気に、一生懸命」演技していました。当日、校庭には、子どもを含め3000人以上の人が集まり、運動会を楽しんでいました。運動会を盛り上げてくださった保護者をはじめ、おじいちゃん・おばあちゃん、ご家族の皆様



多くのご声援、本当にありがとうございました。

人数が多い分いろいろなお考えが！

～ “子どものよりよい成長のためには？” という視点で！ ～

運動会前後、電話・メール・手紙・連絡帳・口頭で、様々な内容について、賛否両論いろいろなご意見・お考えをお聞かせいただきました。ありがとうございました。

例えば、「応援合戦で“白の勝ち”と判定したことについて」校長の意図は、安易に“引き分け”と判定するのではなく、この後の演技に少しでもプラスになるようにしたいという思いがありました。そのために、判定する際マイクを準備して、その理由を説明した次第です。初めてのことだったそうです。



これに対し、「紅組も一生懸命応援していたのだから引き分けとするのが普通だろう！今まではそうだった。」「自分の応援だけでなく、相手の応援を聴く態度にまで目を向けたところに道徳的な教育を感じた。」といった意見をいただきました。

判定理由は、あの時に述べたとおりですが、校長の思いとしては、白がかなり負けていたので、点差が縮むことによって、この後の奮起を期待していたところもありました。

このことを、後日、先生方に話したところ、「あの判定はすごくよかったです。」というのです。その理由は…（裏へ続く）



応援合戦の練習をしている際、高学年児の中には「どうせ一生懸命やっても応援合戦はいつも引き分けだからな！」と言っていた子どもたちがいたのだそうです。私は、思いもかけない話が聞けて「してやったり！」と思った次第です。「紅組の子どもたちは、あの後目の色が変わって、いつも以上にがんばっていたんですよ。本気度が違ってました。」と言う話も！

実際、点差が縮まった白組が追いつこうとがんばったのはもちろん、危機感を覚えた紅組もそれ以上にがんばりました。午後の競技で、子どもたちの本気度が高まって盛り上がっていたのはご覧いただいたとおりです。



船引小は、県内で5番目に児童数が多い学校！



～ 大規模校ならではのよさを生かした教育活動の推進！ ～

全国的に急激な少子化が進み、児童数が激減しています。全校児童数691人は、今年度県内の小学校436校の中で、5番目に多い人数です。人数が多い分いろいろなお考えや思い・希望があります。それら全てを具現することは難しいですが、大規模校ならではのよさを生かしながら、“子どものよりよい成長のためには？”という視点で考え、判断して参りたいと考えています。どうぞ、“子どもたちのよりよい成長のために”、今後とも温かいご理解と、ご支援・ご協力をお願いいたします。

その他のご指摘も！ ～ 保護者の皆様とともに考え・改善できれば幸いです！ ～

この他にもいろいろなご指摘があるのですが、その一部をご紹介します。

① 徒競走（100M走等）のスタートの仕方

「みんなバラバラでひどかった。」ということでした。ご指摘のとおりでした。先生方と、来年に向けて、ぜひ改善しようと思確認しました。昔と違い、運動会の練習は本当に限られた時間で行います。その時間は、団体種目や全体に係る練習が中心で、個人競技に関してはその方法や並び方を確認する程度です。事前指導が十分でない中、時間の都合もあり、全ての組のスタートを徹底させることはできませんでした。次年度は学年での事前指導・練習をしっかり行いたいと考えています。

② 運動会前日の場所取りのための行列と公民館駐車場への前日からの駐車

「あんなことをやっていいのか！」「学校は許しているのか？」「並べない人のことは考えているのか！」など、多くの電話をいただきました。学校では、「校地内に並ぶのは16時から、場所の確保は16時30分から。」とお知らせしています。これ以上のことは、保護者の皆様の判断に委ねるしかありません。事前に学校の敷地外に並ぶことについては、学校としては何も申し上げられない次第です。それでもそのままにはできないと、PTA 役員の皆様が公民館に断って、一般の方に迷惑をかけないように、運動会前々日からコーンで場所を区切り、前日仕事を休んで整理してくださっている状況です。限られた環境の中で、皆様がいかに気持ちよくスムーズに過ごすことができるか？私は今年初めてでしたので、その状況をじっくりと見させていただきましたが、いずれ皆様に現状をご理解いただき、ご協力をお願いしていくことが大切だと感じました。

今年の船引小学校を“いい学校”にしたい！

～ 保護者の皆様のご理解・ご協力もいただければ幸いです！ ～

今年度最初の学校だより（4月13日号）にも書きましたが、校長の思いが子どもたちに分かりやすく伝わるように“今年の船引小学校をいい学校にしたい”と何度となく話しています。子どもたち・教職員がこの思いを受けて日々本当にがんばってくれていると思います。前号にも書きましたが、その様子は、**本校のホームページをご覧くださいと一目瞭然です！**

保護者の皆様をはじめ地域の方々の学校教育へのボランティア協力・登下校時の見守り等も本当にすばらしいと感じています。ただ、ごく一部の保護者にルールやきまりを守られない方がいらっしやるのも事実で、残念です。子どもは大人の後ろ姿を見て育ちます。“子どもは親の言ったようには育たないが、やったようには育つ”と言われます。心したいと思います。